



御降誕おめでとう ござります

つどい

638号	2021/12/24
カトリック清瀬教会	〒204-0022 清瀬市松山一-二-一一 ℡〇四二（四九一）〇一〇四

知人が訪ねてきてくれるこ
とになりました。私が前にい
た教会の信者さんです。「一度
は、清瀬教会に行つてみたい。」
とおっしゃっていたので、「い
つでも来てください。」と言つ

曲がつて二分ほど歩くと、左
に教会があります。そのよう
に電話で言つておきました。
三十分くらいたつてもつかな
いので、携帯に電話を入れま
した。「どうしたの、どこで何
をしてるの。買い物なんかし
ないでいいから、とりあえず、
教会にいらつしやいよ。」と言
いましたら、意外な言葉が返

て、二、三の店で聞いても、
『知りませんとか、わかりま
せん』という返事なので、慌
てているところなんですね。』
という返事でした。

ていました。久しぶりなので、
顔も多少変わっているかと楽
しみにして、約束の日、教会
で待っていました。

西武池袋線に乗つて清瀬で
降りる。南口に出て、いろいろ
お店や食堂が並んでいる方
面に商店街があるから、その商
店街をまつすぐに十分ぐらい
歩いて、突き当たつたら左に

カトリック清瀬教会はどこですか？

西川 哲彌 神父

つてきたのです。商店街はわ
かりました。そこをまつすぐ
に歩いていけばいいのだなと
いうことを分かつたのだけれ
ど、ちょっと確かめようと思
つて、駅前のお店で『清瀬カ
トリック教会はどこですか』
と聞いてみたんです。すると、
『さあ、カトリック清瀬教会、
知りません』と言われ、慌て

て、二、三の店で聞いても、
『知りませんとか、わかりま
せん』という返事なので、慌
てているところなんですね。』
といふ返事でした。

いつもは、「商店街をまつすぐ
に歩いて突き当たりを左」で
着いていますからご安心くだ
さい。清瀬の教会は、駅前か
ら今の教会までが、松を中心
とした雑木林の頃、マリア会

(暁星学園を経営している

フランス人の男子修道会) が

七十年以上も前に買い取つて
牧場を作り、牛乳でバターや
チーズを作つていた土地のほ
んの一部を買い取つて始めら
れた歴史があるのです。教会
の歴史を自慢しても仕方があ
りません。駅前で、「カトリック
清瀬教会はどこですか」と
きかれても知らない方が多い
のは無理からぬことなのです。
そのカトリック清瀬教会へ
いらつしやる方がいます。も
ちろん、清瀬教会の信者さん
です。しかし、昨年来、コロ
ナウイルスの感染を避けるた
め、高年齢の方、既往症を持
つておられる方、現在、体調
を崩されておられる方は、自
宅でお祈りくださいと、司教
様の温かい言葉で教会へ行く
ことを遠慮している方がたく
さんおられました。しかし、
十一月から、通常のミサが開
始され、聖堂が久しぶりに定

員を超すほどになりました。
元に戻りつつあります。

カトリック教会は、幼児洗
礼を認め、むしろ勧めていま
すので、家族全員が信者とい
うケースが少なからずあります。
大きくなつて自分で受洗
を選ばせるという家族もあり
ます。大きくなつて、自分で
受洗を希望し勉強をする人は、
とても少ないのが現実です。

そのほかに、清瀬教会にい
らつしやる方がいます。そ

の方々は、求道者の方です。求
道者という言葉は固い印象を
与えてしまいがちですが、い
らつしやる方の気持ちは、ま
さに、道を求めて教会の戸を
叩いた方です。求道者と呼ぶ
にはふさわしい方です。とい
うのは、長崎や函館のように、
観光地化されたところなら、
気軽に入つて、聖堂の中を見
学したり、置いてあるパンフ
レットを頂いたりしても問題
ありません。しかし、なんで

もない時、教会（聖堂）に入
つてお祈りするのには、かな
りの勇氣が必要です。つまり、
教会というところは、「敷居が
高い」ところなのです。その
教会に、飛び込んで、「教会に
入るためにはどうすればいい
のでしょうか。」と受付の方か
司祭に聞くというのは、相当
の勇気と決意が必要だつたと、
求道者の方が口を揃えておつ
しやいます。

カトリック教会は、教会に
来て、ミサにでたり、行事に
参加して手伝つたり、趣味の
グループに入れてもらつてお
友達になつても、すぐに洗礼
というわけには行きません。

入門講座を受けて、信者とし
て不都合がないように準備を
していただきます。いろんな
特例があるので、簡単に洗礼
を受けられるように思われた
ら、それは間違いです。入門
講座は、約一年、回数にすれ
ば三十回くらいの講義を受け

なければなりません。それは、
入門のためであつて、そこか
らさらに勉強が続くのです。

教会によつても違いがあり
ますが、何人かのグループで
講座をやつている場合もあれば、
個人レッスンのようにな
ンツーマンでやつている場合
もあります。

きちんと勉強していないと、
信仰が続かないこともあります。
さて、誰が入門講座を担当
するかが難しい課題になりま
す。司祭や助祭はそれなりの
訓練を受けていますので即戦
力にはなりますが、負担が大
きくなります。

そのため立ち上げられた
のが、教区の「カテキスタ（入
門講座を担当できる人）養成
講座」です。始まつてまだ数
年で、各小教区に派遣できる
人数に達していませんが、人
数が揃つてくると、教区の力
になるでしょう。私たちの清

瀬教会にも、受洗を希望する求道者が何人かおられます。今のところ司祭が対応しています。

さて、何人かの求道者に会つて勉強を続けていくうちに、気付かされることがあります。それは、教会の存在です。教会が発している招きの力です。自画自賛になつてはいけませんが、教会の吸引力は偉大です。「教会に行けば、何か教えてもらえる。」「教会に行けば、本当の生き方のヒントを授けてもらえる。」これらは、決してご利益ではありません。キリスト教的に言えば、「父である神が泉のようにもたらす恵み」なのです。

「教会は、灯台みたいです。

昼間はどこにあるかよくわかりません、しかし、暗くなると、そのありがすぐにわかります」と、求道者の方が、おっしゃっていました。灯台として、一九三六年（昭和十

一年）以来、八五年間（注）清瀬教会が、この地にあつて、灯火を灯し続けてきたことは、そのまま、父なる神のみわざであつたと言つても過言ではありません。

教会は、イエス様が、十二人の弟子達を召し出してお始めになつた人の集まりから始まっています。この「人の集まり」から始まつた教会が広がつて今の教会になりました。

「二人三人、私の名によつて集まるところに、私もいる」とおっしゃつてくださいました。教会には、イエス様の火が灯つています。

火を灯し続けて行きましょう。

（注）一九三六年に現在の秋津教会の地に「清瀬教会」ができ、一九五八年に現在の清瀬教会の地に「清瀬教会」が建設され、それまでの「清瀬教会」は「秋津教会」となりました。

今年の復活祭四月三日・四是、コロナ禍のため、また、主任司祭の西川神父様が膝の手術で入院中のため、猪熊太郎神父様が、復活徹夜祭、日中のミサの司式をしてくださいました。

受洗式は復活徹夜祭の中で行われ、五名の方が受洗なさいました。



お名前	お名前
大富	大富
地区	地区
靈名	靈名



七五三のお祝い

お名前 大富 あおとみ
靈名 マリア・アンナ
地区 四地区
杏奈 あんな



お名前 佐藤 さとう
みち
セバスチヤン
三地区

お名前 黒住 くろすみ
アヤコ
テレジア
四地区

お名前 野田 のだ
一久 かずひさ
セバスチヤン
四地区

令和三年十一月十四日(日)
十時のミサの中で七五三の祝
福式が行われました。立冬も
過ぎたというのにとても暖か
い日でした。
これからのお祝いを担う子ども
も達です。この子ども達の成
長をお祈りください。



(お名前)

マリア 佐藤 さら (四歳)
ヨセフ 湯田 悠利 (六歳)
ヨセフ ラビ・ステファン
(五歳)

三宅 一穂 (三歳)
(以上敬称略)

ご結婚おめでとうございま
す

令和三年十二月四日(土)
結婚式が執り行われました。



ペトロ加藤 誠一
(臨終洗礼)

(以上敬称略)

お幸せに
(敬称略)

新郎 氏名 尾下トリストンミノル
高橋 美貴
(敬称略)

新郎 氏名 尾下トリストンミノル
高橋 美貴
(敬称略)

西村英樹神父様の
初ミサ



令和三年十二月五日（日）
十時のミサで、西村英樹神父様が清瀬教会で初ミサを捧げられました。西村神父様は、清瀬教会でハクシャヤ神父様から洗礼を受けられました。

ご説教の中では、侍者を務める様になられてからの仲間達とのエピソードを楽しく思い出しながらお話ください



ました。

いつも十字架を仰ぎ見る事で救われたこと。主が私に与えてくださったのはまっすぐな道であつたが、しかし、自分は気がつかず、糸余曲折を経て、今、司祭職の恵みに与ることができたこと。

最後に、これからは本当に重要な事を見極める事が出来るよう歩んで行きたいし、イエス様が与えてくださった司祭職を全うして行きたい、とおっしゃつてました。

信
徒
動
向

チエチリア菅井 博子
(八三歳)

ヨハネ・クリズストモ
古屋 健士(六六歳)

マリア・カタリナ

《転入》
マルタ猪口 とも枝(二地区)
マリア・エリザベト

中山 薫子(九六歳)
ペトロ塙本 健吉

田中 康子(九地区)
ペトロ金原 嘉之(八地区)
パウロ伊藤 希海

テレジア 牧山 シマコ(九地区)
マリア・マグダlena

佐々木 みち子(二地区)
マリア・テレジア

稻岡 洋子(七地区)
モニカ川里 芳枝

《十三歳》
マリア廣垣 操(八八歳)
ペトロ加藤 誠一

《六八歳》
クララ小木曾 久子
(八六歳)

(九二歳)

(以上敬称略)

《転出》
ライレン土田 圭子
(東京教区北町教会へ)

リマのローザ上原 沙織
(東京教区豊四季教会へ)

《帰天》
ヘレナ五味 喜美子(八五歳)
ヨゼフ藤田 保夫(九六歳)

